

今号のコンテンツ

- 専門医・指導医の更新の手続きを
- 新任幹事のご挨拶
- 厚生労働省科学研究費に関する御報告（続報）
- 合同シンポジウムのお知らせ
- 第25回日本医療情報学会春季学術大会のご報告
- 事務局からのお知らせ

専門医・指導医の更新手続きを

社会医学系専門医協会 理事長
 今中雄一

COVID-19 パンデミックに体を張って人々の健康を守る皆様に深い敬意をもって感謝申し上げます。現在、社会医学にとって極めて重要な時代となっています。社会医学系専門医制度は、創設されて5年目に入り、多くの専攻医も研修プログラムに入り、新たな専門医が次々と輩出されるようになりました。次の数年は、社会医学系専門医・指導医の価値が、制度・政策上も、生涯学習の資源としても、益々高まっていくことになるでしょう。

今年は、社会医学系専門医制度の開始時に専門医・指導医の資格を得られた方々の「更新手続き」があります。その更新の要件や手続きは、一見とっつきにくいですが、実はシンプルです。

更新の要件

- I. 社会医学系専門医協会構成8学会のいずれかに加入し、学会員を継続
- II. 社会医学系専門医協会の年間登録料を5年間、中断なく納めている
- III. 社会医学系活動を5年間継続している（常勤・非常勤を問わない）
- IV. 社会医学系分野での活動実績が5年間に2項目で申告の記載がある（左記の項目の範囲は幅広いです）

以上は、当専門医・指導医を意識して社会医学系活動を継続していれば、難なくカバーされます。

- V. 更新単位（K単位 10 単位、G単位 10 単位）を受講証明書等で確認

これも難しいものではありません。受講の証明も柔軟に対応しえます。

- ・ G単位[学会・団体活動の実績等]では、協会の構成学会・団体の年次総会等に5年間で3回以上（内、鍵となる学会の年次総会は2回以上）の参加が必須です。
- ・ K単位[講習の受講]は、必須3単位、即ち、「医療倫理」「感染対策」「医療安全」（eラーニング履修可）を含みます。指導医の場合、指導医講習会2回以上必須でこれらも含みます。

詳細は、「[専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）](#)」と「[専門医・指導医 Q&A0716.pdf](#)」をご参照ください（下線部をクリック）。

- 申請時期の割り当て期間がありますが、その期間が難しい場合、2021年11月30日までに提出いただければ大丈夫です。
- 今回は、「コロナ禍により資格維持の活動が困難の為」等の理由がある場合、**更新の延長届け出**も可能です（詳細は上記お下線部をクリック）。

今後、社会ニーズが高まる時代の流れと強力な関係者の力・協働によって、社会医学系専門医・指導医の価値は、必ずや強化されていきます。ぜひ、更新の手続きをお忘れなきようお願いいたします。

新任幹事のご挨拶

国立国際医療研究センター・筑波大学
杉山雄大

国立国際医療研究センター・筑波大学の杉山雄大と申します。この度、当協会の幹事を拝命いたしました。これまで社会医学系の活動としては、主にレセプトデータなどの二次データを用いたヘルスサービスリサーチ・医療政策研究を行ってきました。当協会の活動としては、日本公衆衛生学会からのご推薦をいただき第1回・第2回の専門医認定試験分科会に関わりました。また、現時点で最も新しい（2019年12月認定）国立国際医療研究センター社会医学系専門医研修プログラムの立ち上げとその後の運営に携わってきました。

このコロナ禍に社会医学系専門医・指導医の先生方は様々な形でご尽力されており、社会医学はこれまで以上に注目されています。諸先輩方の築き上げてきたこの専門医制度が多様な社会医学系のキャリア形成と更なる研鑽のためにより意義深いものとなるよう、微力ながら努力して参ります。何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

新任幹事のご挨拶

千葉大学病院病院経営管理学研究センター
亀田義人

このたび社会医学系専門医協会の幹事を務めさせていただく事となった千葉大学病院病院経営管理学研究センターの亀田義人と申します。所属のとおり病院経営管理を中心に活動しております（よろしければ「厚生労働省科学研究費に関する御報告（続報）」でご紹介いただいている記事をご覧ください）。

今回、幹事を拝命したそのミッションは、社会医学系専門医協会の事務局機能の更なる向上と、より魅力ある専門医・指導医のしくみへの貢献であると考えております。この先10年、20年と、社会医学系専門医・指導医を取得・更新し続けて良かった、活躍の場が広がった、色々なチャンスに恵まれる様になった、とっていただける様な制度作りに向けて「上善水のごとし」の精神で尽力したい所存です。

まだまだ若輩ではありますが、自分自身や同世代の将来にとって、協会での取り組みが直接反映される、「責任世代」であるという自覚を持って取り組んでいけたらと思います。皆様のご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

厚生労働省科学研究費に関する御報告（続報）

順天堂大学医学部公衆衛生学講座
和田 裕雄

・厚生労働省科学研究費「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究（研究

代表者：磯 博康先生)」では、社会医学系各領域におけるキャリアおよびコンピテンシーの事例収集を目的としてインタビューを実施しました。同インタビューの内容は、『社会医学系専門医の「いま・未来」』にて発信しております



(<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/list?category=4>)。

QR コードも含めて御活用下さい。また、学生の講義等にご使用の場合は、成果について御教示御願い申し上げます。

インタビューは 12 回を予定しており、これまでに以下の 6 回分を配信致しております。今後も様々な分野でご活躍されている先生方のインタビューを掲載予定です。

第 1 回 『生命や健康のインフラ』たる 社会医学のプロフェッショナルを育む』
 一般社団法人 社会医学系専門医協会 前・理事長 宇田 英典先生
<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/390>



第 2 回 『マネジメント視点で取り組む「健康な街づくりと健全な病院づくり」
 千葉大学医学部附属病院病院長企画室総合調整員・
 千葉大学予防医学センター特任助教 亀田 義人先生
<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/387>



第 3 回 「地域を診る医師」として保健所で住民の健康をサポート」
 東京都大田区保健所感染症対策課長 高橋 千香先生
<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/237>



第 4 回 『未曾有のパンデミックに、数理モデルで立ち向かう』
 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻教授 西浦 博先生
<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/1228>



第 5 回 『医系技官として国の健康課題に向き合う』
 内閣官房新型インフルエンザ等対策室・国際感染症対策調整室・
 新型コロナウイルス感染症対策推進室企画官 野田 博之先生
<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/1890>



第 6 回 『必要なのは「人」と「社会」への興味 仕事も育児もあきらめないキャリアを』北
 海道大学大学院医学研究院・
 医学院社会医学分野公衆衛生学教室教授 玉腰 暁子先生
<https://resident.mynavi.jp/magazines/special/detail/2730>



<インタビュー記事の今後の予定>

- ・杉山 雄大先生（国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター医療政策研究室室長／筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野准教授）
- ・西 晃弘先生（Department of Epidemiology, UCLA Fielding School of Public Health）
- ・山本 尚子先生（WHO 事務局長補）
- ・近藤 祐史先生（厚生労働省健康局健康課 地域保健室 地域健康危機管理対策専門官）
- ・加藤 杏奈先生（花王（株）人財開発部門健康開発推進部全社産業医）
- ・平木 秀輔先生（北野病院医療情報部長）

日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムのご案内

順天堂大学医学部公衆衛生学講座

和田 裕雄



・表記のシンポジウムについてご紹介致します。
 第53回日本医学教育学会大会（2021年7月30日（金）・31日（土））において、表記の合同シンポジウムを開催致します。本シンポジウムは、日本医学教育学会とともに、社会医学系専門医のキャリア形成・コンピテンシー確立を目指して、始める第一歩としたいと考えております。以下に概要を示します。是非一緒に考える機会となれば幸いです。

日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムの概要

シンポジウム：社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育

日 時：2021年7月30日（金）10：30～12：30

座 長：小西 靖彦 先生（京都大学・日本医学教育学会 理事長）

磯 博康 先生（大阪大学・日本公衆衛生学会理事長）

シンポジスト：

1. 永井 良三 先生（自治医科大学 学長・第 53 回日本医学教育学会大会長）
「社会医学を学ぶ重要性」
2. 佐々木 昌弘 先生（厚生労働省 厚生科学課長）
「政府の立場から社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育に期待すること」
3. 内田 勝彦 先生（大分県東部保健所長・全国保健所長会会長）
「行政・保健所に向けたキャリア形成と医学教育」
4. 錦織 宏 先生（名古屋大学）
「行動科学、社会科学、そして医学教育学」
5. 和田 裕雄 先生（順天堂大学）
「シームレスな垂直・水平統合を志向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立」
6. 今中 雄一 先生（京都大学・社会医学系専門医協会理事長）
「全医師に必要な社会医学的素養：医師育成における展開と社会医学系専門医」

学会 URL

<https://site2.convention.co.jp/jsme53/>

第 25 回日本医療情報学会春季学術大会開催報告



第25回日本医療情報学会春季学術大会会長
 鳥取大学医学部附属病院医療情報部 部長、教授
 近藤 博史

この度、第 25 回日本医療情報学会春季学術大会を 2021 年 6 月 10 日(木)～12 日(土)の 3 日間にわたり鳥取県米子市の米子コンベンションセンターとリアルオンラインのハイブリッドで開催いたしました。日本医療情報学会では昨年の第24回日本医療情報学会春季学術大会は COVID-19 により急遽リアルタイムオンライン開催し、2020 年11月 18～22日の第 40 回日本医療情報学連合大会は浜松の会場とリアルオンラインのハイブリッド開催しており、コロナが落ち着いたとしてもオンラインの希望が多いとのアンケート結果からハイブリッド開催を計画しました。しかし、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長期間の開催となり、リアルオンラインが主のハイブリッド開催となりました。大会では議論を活発にするため質問者もパネリストにして表情や身振りの見える形にして、評価を得ました。

今回のテーマは「これからはじまる医療DX」といたしました。大会企画①「モバイルヘルスが進める医療DX」では私が日本遠隔医療学会会長をさせて頂いていることからオンライン診療、デジタル治療、Location flexible trial各分野の専門家にお願ひし、企画②「画像とICU分野のAI導入とその基盤構築」では画像分野とICU分野でAIの専門家、国立がんセンター病院のAI基盤についてご講演頂き、企画③は恒例のYear-in-Review、企画④「医療DXにおけるサイバーセキュリティ」ではインターネットの広がりとともに注目されるサイバーセキュリティについてクラウドセキュリティの専門家、医療情報システムの安全管理ガイドライン5.1版の山本隆一先生、厚生労働省の立場から前田彰久先生にご登壇願ひました。特別公演は診療記録をスマートフォンから参照でき、EU内で診療情報の送受信が進むKANTAについてJarmo Reponen教授に朝のオウルから「The current status of the Finnish Health Information Exchange KANTA」と題してご講演頂きました。大会長講演はこれまで標準化の仕事をしてきたことから「医療情報システムの標準化とその基盤」の講演をさせて頂きました。一般演題は口演40演題、ポスター25演題の申込を受け、最終的に口演16演題、ポスター34演題の発表で興味深いものが多かったです。チュートリアル6件、ランチョンセミナー6件、スウィーツセミナー1件、ホスピタルルーム1室、参加登録は1517名

事務局からのお知らせ

【専門医・指導医更新のよくあるご質問を下記に掲載いたしました】

☆更新申請書類、更新延長届の提出はいずれも 11月30日（火）迄受付です

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/wordpress/wp-content/uploads/koushinqanda0716.pdf>

Q&Aの追加

【更新手続きの時期について】

(Q1) 私は6月1日～7月31日書類提出の旨連絡を頂きました。録となる学会への参加、そしてK単位の講習会受講を考えておりますが、明確な開催情報がなく、受講見込すべきか、あるいは更新延長すべきか判断ができません。更新書類については期限を過ぎても受け付けて下さるのでしょうか？

【回答案1】

書類の提出時期は認定番号をもとご案内差し上げております。また、K単位が取得できる講習会につきましては、構成学会・団体から連絡があれば、協会ホームページに掲載しているところです。

更新申請の当面の期限は7月31日ですが、最終締め切りの11月30日までに更新申請の関係書類、または更新延長届をお送りくだされば、受理いたします。

(Q2) 更新が2022年3月なのに、更新の書類の締め切りが前年の7月とは早すぎませんか。

【回答案2】

更新書類の提出期限に関しては、受付・審査の体制の都合により、認定番号の順番ごとに更新時期を設定しました。提出の締め切り期限については、3つめのグループの手続き時期が「2021年10月1日～11月30日」なので、もし7月未までの提出は難しいという場合は、11月30日までに提出してください。

【更新延長の申し出】

(Q3) 更新延長届は7月31日までに提出しなければならないのでしょうか？

【回答案3】

更新手続きの時期とは関係なく、一律11月30日迄にご提出ください。

(Q4) 更新延長届の理由の記載欄について、どう書けばよいでしょうか？理由によっては更新延長届が却下されるのではないかと不安です。

【回答案4】

内容については各認定医の先生方にお任せしております。現在、「コロナにより資格維持の活動が困難の為」等の理由を書き添えていただくケースが多くみられます。

※Powerpoint10枚での説明です。

専門医・指導医の更新について (R3 概要)

社会医学系専門医・指導医の更新について(R3概要)

【専門医・指導医共通事項】

- ① 社会医学系専門医協会構成8学会のいずれかに加入し、学会員を継続
- ② 社会医学系専門医協会の年間登録料を5年間、中断なく納めている
- ③ 社会医学系活動を5年間継続している(常勤・非常勤を問わない)
- ④ 社会医学系分野での活動実績が5年間に2項目で申告の記載がある

<社会医学系分野(6分野)>

(1)教育・研究活動 (2)産業保健活動 (3)行政関連活動 (4)医療管理関連活動 (5)災害時・健康危機管理対応 (6)社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修及び制度発展に係る実績

- ⑤ 更新単位(K単位10単位、G単位10単位)を受講証明書等で確認

<K単位(講習の受講)>

- 必須3単位:「医療倫理」「感染対策」「医療安全」
→eラーニング履修可

<G単位(学会・団体活動の実績等)>

- 協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に5年間で3回以上の参加が必須。
- うち、鍵となる学会の年次総会には2回以上(=4単位以上)参加必須

【現指導医】

<指導医の更新>

- 指導医講習会2回以上(=K2単位以上)の参加

※専門医のみになる場合は追加事項無し

【現専門医】

<指導医も申請>

- 基本プログラム(7科目×7時間)49時間を受講(※1)
- 指導医講習会2回以上(=K2単位以上)の参加
- 協会構成学会での発表等(※2)

※1 専門医取得時に受講済の場合は不要

※2 協会構成学会の年次総会での発表歴(口演で筆頭のみ)、ポスター発表(筆頭のみ)、座長、シンポジスト(発表者のみ)、教育講演の演者など、または論文掲載(筆頭のみ)

<専門医のみの更新>

- 基本プログラム49時間を受講(※1)

単位の取得について

<K単位(講習の受講)>

- 必須3単位:「医療倫理」「感染対策」「医療安全」
→eラーニング履修可
- 【指導医を申請(新規・更新)する場合】
指導医講習会2回以上(=2単位以上)参加必須



協会加盟の学会及び団体が指定する研修会、講習会、セミナー、年次総会時の教育講演等の受講を通じて、左記必須単位以外で

- 指導医申請者は 5単位以上
- 専門医更新者は 7単位以上

取得するよう計画すること。

<G単位(学会・団体活動の実績等)>

- 協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に5年間で3回以上の参加が必須。
- 鍵となる学会の年次総会には2回以上(=4単位以上)参加必須



必須要件を満たす時点で、最低5単位取得できることとなるので、それ以外で5単位以上取得するよう計画すること。(単位は左下の表を参考のこと)

※鍵学会年次総会に毎年参加していれば、G単位は十分取得できることに留意

学会・団体活動等の内容		付与単位
学術集会等への参加 (5年間で3回以上)	構成学会年次総会への参加	鍵学会(2回以上) 2単位/年 鍵でない学会 1単位/回
	構成学会の地方会への参加	0.5単位/回
	構成団体の研究協議会等への参加	1単位/回
	構成団体の研究協議会地方会への参加	0.5単位/回
構成学会年次総会での役割	特別講演・教育講演等	1単位/回
	シンポジスト・座長	1単位/回
	一般演題(筆頭演者)	1単位/回
	一般演題(共同演者)	0.5単位/回
論文	構成学会における筆頭著者	3単位/件
	構成学会における共同著者	1単位/件
	上記以外の社会医学系論文筆頭著者	1単位/件
	上記以外の社会医学系論文共同著者	0.5単位/件
学会や団体の役員、委員会委員等	1単位/年	
	審議会、検討会等の委員等	2単位/年
行政機関関係	会議等への説明担当等の役割を有する参加	1単位/回

構成学会 (8学会)	構成団体 (6団体)
・日本衛生学会	・全国衛生部長会
・日本産業衛生学会	・全国保健所長会
・日本公衆衛生学会	・地方衛生研究所全国協議会
・日本医療・病院管理学会	・全国機関衛生学公衆衛生学協議会
・日本医療情報学会	・日本医師会
・日本疫学会	・日本医学会連合
・日本災害医学会	
・日本職業・災害医学会	

学術集会開催情報等(R3.6.22時点)

構成学会	2021年度年次総会	開催地	大会HP	2022年度年次総会(参考)	開催地
日本衛生学会	2022/3/21~23	西宮市	https://procomu.jp/jsh2022/	2023/3月上旬見込	東京都
日本産業衛生学会	2021/5/18~21	松本市	https://convention.jtbcom.co.jp/sanei94/	2022/5/25~28	高知市
日本公衆衛生学会	2021/12/21~12/23	東京都内	https://www.c-linkage.co.jp/jsph80/	2022/10/7-9	甲府市
日本医療・病院管理学会	2021/10/29~31	WEB	https://procomu.jp/jsha2021/	未発表	
日本医療情報学会	2021/11/18~21	名古屋市	http://jcmi41.org/	2022/11/17~20	札幌市
日本疫学会	2022/1/26~28	浦安市&WEB	未設定	未発表	
日本災害医学会	2022/3/2~5	広島市	未設定	未発表	
日本職業・災害医学会	2021/11/27~28	WEB	https://procomu.jp/jsomt2021/index.html	未発表	

【更新が間近な方へ】

番号に基づいて、更新が間近な方は、まず、**更新までに「鍵学会の年次総会」に2回参加することができるか、確認をしてください。**

- 2回参加**できる**→予定を確実に確保することをおすすめします。
- 2回参加**できない**→今年度の更新では「1年延長」が認められていますので、延長の手続きをとり、鍵学会への参加等を着実に進めてください。

【要確認】専門医・指導医番号について



【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、社会医学系専門医協会事務局まで登録内容変更届をご提出ください。

※登録事項変更届のダウンロードは下記 URL から

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

※8月下旬に年間登録料未納の方を対象に請求書を発送予定です※

年間登録料請求書の再発行、領収書の発行をご希望の際は下記お知らせ記事の下部よりサンプルEXCELをダウンロードの上、返信用封筒を同封の上、ご依頼ください。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1879/>

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : jbphsm@asas-mail.jp

FAX : 03-5981-6012